

令和6年10月10日(令和6(2024)年度第27号)



全国保育士会委員ニュース

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局

〒100-8980
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-6503
FAX 03-3581-6509
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp
<https://www.z-hoikushikai.com>

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

<ニュースの内容>

- **《申込延長！！10月18日(金)まで》**
「第57回 全国保育士会研究大会(高知大会)」開催のご案内
- 令和6年度「学会発表助成」申込受付中

- **《申込延長！！10月18日(金)まで》**
「第57回 全国保育士会研究大会」(高知大会)開催のご案内
子どもは未来のたからやき！！～高知で一緒に学ぼうや～

第57回
全国保育士会
研究大会
開催要項
11月21日(木)・22日(金)
高知県立泉民文化ホール 他
〒780-0877
高知県高知市本町4丁目30-3 他

子どもの現在と未来を支える
保育の実現 子どもは未来のたからやき!!
～高知で一緒に学ぼうや～

近年、高齢化や人口減少等の影響により、子どもや子育て世代が抱える課題に気づきにくい状況があります。そうしたなか、中核的課題「こども家庭庁」が掲げられるとともに、「こども家庭庁」が設置され、「こども未来社会」を掲げた取り組みが進められています。また、令和6年度には改正児童福祉法が施行されるなど、保育現場や子ども・子育て政策をよりよく実践するための取組を進めています。子どもたちの未来を支えるための保育士・保育施設関係者は、自身の持つ専門性とその責任を改めて認識するとともに、多職種・多機関とも連携した実践の展開につなげるなど、地域の子どもと子育て支援の中核を担う存在として活躍することが期待されています。

加えて、保育士・保育施設等の専門性を地域に積極的に発揮することで、保育の仕方の新しい展開を促進するとともに、保育人材の確保・育成・定着や保育者が安心して働き続けられる職場づくりを進めることも必要です。

子ども一人ひとりの成長を促すとともに、誰もが安心して暮らせる社会に、全国の保育関係者が思い、保育者一人ひとりが知識や技術を向上させるとともに、保育の発展を促していくことを目的として、本研究会を開催します。

主催：社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国保育士会
高知県保育士会
実行委員会：全国保育士会 高知県保育士会
共催：こども家庭庁 高知県 高知市
社会福祉法人全国社会福祉協議会
高知県保育施設管理委員会
高知市児童福祉協議会

令和6年11月21日(木)・22日(金)、第57回全国保育士会研究大会を高知県高知市で開催します。

本研究大会は、子どもの最善の利益を尊重し、豊かな育ちを保障するために、保育者一人ひとりが知識の研鑽を積むとともに、保育の研究を深めていくことを目的に開催するものです。

2日目の実践研究分科会では、学識者による解説を交えながら、1年をかけて積み上げた実践研究に触れることにより、自らの保育実践の振り返りや新たな取り組みの創出につながるなど、非常に多くの学びを得ることができます。

また、記念講演では『パンドロぼう』でおなじみの

柴田ケイコ氏(絵本作家)にご登壇いただきます。大会当日に該当の書籍を購入いただいた方の中から抽選で、柴田氏のサイン会参加券のプレゼントもあります。また、大会資料の中に柴田氏が保育者をイメージしたイラスト入りのクリアファイルを同封予定です。

さらに、昨年度設置された「こども家庭庁」より、保育制

記念講演(トークショー)
柴田 ケイコ 氏
高知県生まれ、現在も高知で活動中!
2002年よりフリーイラストレーターとして書籍・広告・雑誌など、幅広いジャンルで活躍するほか、2016年に初絵本「めがねこ」(手紙社)で絵本作家デビュー。
絵本作品に、
「ぼめちゃん」シリーズ(白泉社)
「パンドロぼう」シリーズ(KADOKAWA)
「しろくま絵本」シリーズ(PHP研究所)
「なまけていません。」(大塚健太/文 パインインターナショナル)
最近では、
「パンダのおさじとフライパンダ」(ポプラ社)
などがある。
第16回MOE絵本屋さん大賞2023で、大賞&3位W受賞。

サイン会を実施します!!
大会当日に、該当の書籍を購入いただいた方の中から抽選でサイン会への参加券をプレゼント!!

度の動向等に関する説明も予定しています。

なお、本研究大会は次年度（令和 7 年度）から全国保育研究大会（主催：全国保育協議会）と一本化し、「全国教育・保育研究大会」として開催します。そのため、全国保育士会が単独で運営する研究大会としては、本年度が最後の年になります。

多くの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

【第 57 回全国保育士会研究大会の概要】

期 日：令和 6 年 11 月 21 日（木）・22 日（金）
会 場：高知県立県民文化ホール 他（高知県高知市）
主 催：全国社会福祉協議会・全国保育士会／全国保育協議会
高知県保育士会
参 加 費：会員 15,000 円、会員ではない方 20,000 円、学生 5,000 円
申込締切：令和 6 年 10 月 18 日（金）
内 容：・オープニングアトラクション／よさこい鳴子踊り
・基調報告／全国保育士会 会長
・行政説明／こども家庭庁 成育局 保育政策課
・記念講演／柴田 ケイコ 氏（絵本作家）
・実践研究分科会（第 1～8 分科会、特別分科会）

開催要項および参加申し込みは、下記 URL をご参照ください。

【開催要項】全国保育士会トップページ > 研修会 > 「第 57 回全国保育士会研究大会」開催要項
および参加申し込み専用サイトを掲載しました



<https://www.z-hoikushikai.com>

【参加申込】「第 57 回 全国保育士会研究大会」申し込み受付サイト（名鉄観光サービス）

<https://www.mwt-mice.com/events/2024hoikushikai57/login>



■ 令和 6 年度「学会発表助成」申込受付中

対人援助の「専門職」は、日々、エビデンス（科学的根拠）に基づいた質の高い実践を行う必要があります。この“実践”を一層高めていくためには、常に利用者の視点に立って自己評価を続けるとともに、日々の実践を対外的に示し、他者から評価を受け、これを通して最善の方策を学ぶ必要があります。

保育の質が問われている今、保育士・保育教諭等は保育の専門職として、自ら研究し、全体で保育の質を高めあい、「保育実践の理論化と、その理論に基づくさらなる実践の向上、またそれを理論化していく」という流れを形成していくことが求められます。

そこで、全国保育士会では、会員の自主的研究を支援するため、子ども家庭福祉に関するさまざまな学会において発表し、保育士・保育教諭等保育専門職の資質向上に貢献する会員に対し、学会発表に関する経費の一部を「学会発表助成」（1 件あたり 50,000 円）として助成しています。

現在申請を受け付けている「令和 6 年度学会発表助成」は、令和 6 年 12 月 31 日（火）が締め切りとなります。

本助成は、対象となる研究発表の助成要件を見直し、申請年度より 3 年以内の発表（今回の募集では令和 4 年度以降の発表）であれば申請可能としています。

本助成の主旨等をご理解いただき、会員の資質向上のための自己研鑽の一助となるよう申請に向けたご検討とともに、ご周知へのご協力をいただきたくお願い申し上げます。

なお、「助成対象者」や「助成要件」は下記ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

【募集要項・申請書】全国保育士会トップページ > 研修会 > 「令和 6 年度学会発表助成」募集要項、申請書を掲載しました。

<https://www.z-hoikushikai.com/>



✚ 【全国保育士会 HP】 <https://www.z-hoikushikai.com/>

≪全国保育士会 HP TOP 画面≫ ※TOP 画面から再生いただけます。



全国保育士会 HP

✚ 【全国保育士会すかんぽチャンネル】

https://www.youtube.com/channel/UCT7_yzJ_m4HpJpdsy4-pQwg
保育に関する動画を掲載しています。



全国保育士会すかんぽチャンネル

✚ 【全国保育士会公式 X (旧 Twitter)】 <https://x.com/hoikushikai195>

本会の動きや研修会、大会の情報などをお伝えしています。
募集中の研修会の情報や「保育士会だより」の発刊状況等を
気軽に知ることができます。たくさんのフォローをよろしく
お願いします。



全国保育士会公式 X